

キルギス共和国天山山脈のエクロジャイト類とテクトニクス

Eclogites and its tectonics in the Tien-Shan, Republic Kyrgyz

田切 美智雄 [1]

Michio Tagiri [1]

[1] 茨大・理・環境

[1] Dept. Environm. Sci., Ibaraki Univ

3地域で分布が確認され、3回の超高压変成作用が起こった。時代の古い方から北から、アクツス（750Ma）、マクバル（480Ma）、アトバシ（270Ma）となる。北から南に天山山脈は成長していった。マクバルでコース石が、アトバシでコース石仮像が発見された。アクツスとマクバルのエクロジャイト類は超高压・高压変成作用以後の花崗岩類に貫入され、接触変成作用を受けた。花崗岩類も北側ほど古い。アトバシでは対をなす高温変成帯がすぐ北側に分布する。この地域の研究としてより重要なものは年代の決定と関連する弱～未変成地層とのテクトニックな関係を明瞭にすることである。一例として、マクバルのモデルを紹介する

キルギス共和国天山山脈に分布するエクロジャイト類の形成史とそのテクトニクスをまとめる。この地域にはこれまでに3地域でエクロジャイト類の分布が確認されており、3回の超高压・高压変成作用が起こった。時代の古い方から、アクツス（750Ma）、マクバル（480Ma）、アトバシ（270Ma）となり、また、東西に走る天山山脈の位置からみると、北の方から、アクツス、マクバル、アトバシとなる。それぞれのエクロジャイト分布域も東西方向の走向をもっている。以上の結果、北から南に天山山脈は成長していったことが明瞭である。これら3地域の内、マクバルでコース石が、アトバシでコース石仮像が発見されている。

アクツスとマクバルのエクロジャイト類は超高压・高压変成作用以後の花崗岩類によって貫入され、接触変成作用を受けている。花崗岩類も北側のものほど古い。アトバシでは対をなす高温変成帯がすぐ北側に分布する。

この地域のこれからの研究として、個々の変成帯の物理的条件を決めるのは勿論として、より重要なものは年代の決定と関連する弱～未変成地層とのテクトニックな関係を明瞭にすることである。一例として、マクバルのモデルを紹介する。